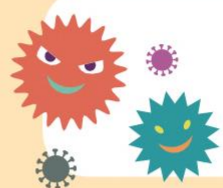
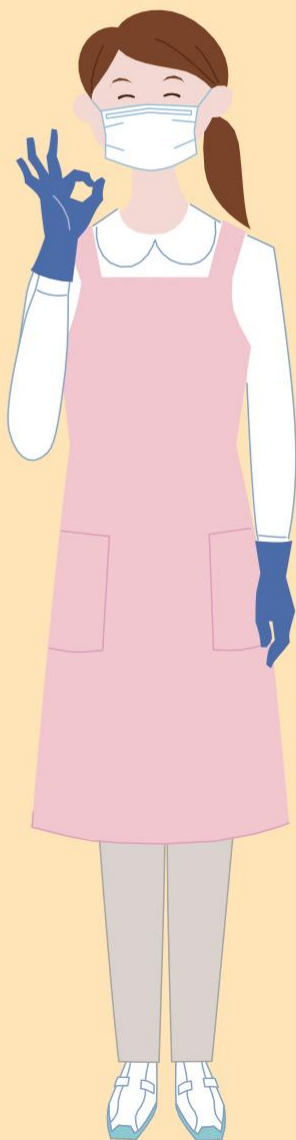


入所施設向け 業務継続計画



感染症 編



もくじ

使い方	02
被害想定と体制	03
方針と目標	04
タイムライン	BCPタイムライン 05.06
事前準備 予防対応	標準予防策（スタンダードプリコーション） 07
	感染経路別予防策 08
	防護具 09
	物資管理・調達 09
	情報収集と共有 10
事前の備え	対策本部 11
初動	感染経路の遮断 12
事前準備 予防対応	職員へのお願い 13
	感染機会の回避 14
予防対応	委託業者等対応確認 15
	外部公表 15
	職員の意向確認 16
事前準備 予防対応	隔離対応 17
	濃厚接触者特定 17
	業務縮小 18
	外部からの応援検討 19
	食事 20
	洗濯、ゴミの対応 20
	誹謗中傷対策 21
	離職防止対策 21
	運用 22

使い方

解説版（別冊）を見ながらblankフォーム（本冊子）に記入していくと、オリジナルのBCPが策定でき、そのまま施設のBCPとしてお使いいただけます。様式は各自治体の発行するハザードマップやそれぞれ既存の書式をそろえ、本冊子に添付してください。

なお、本冊子は主に飛沫・接触感染を対象とした内容となっています。



(例)

NO	様式名
様式 1	ゾーニングシミュレーション図
様式 2	備品一覧
様式 3	職員連絡先一覧
様式 4	利用者連絡先一覧
様式 5	関係者連絡先一覧
様式 6	年間計画

被害想定と体制



被害想定

発生すること	リスク	対策
衛生用品の不足	感染予防が不十分なことで生じる 施設内での感染拡大	平時の備蓄
職員の感染	重症化、死亡 一時離脱や離職、職員の不安増大	感染予防、ハイリスク職員への配慮、補償の確認
利用者の感染	重症化、死亡 利用者家族含む社会的信頼の低下	感染予防、利用者家族とのコミュニケーション
誹謗中傷や差別	職員のストレス増加	個人情報保護など
休校による影響	子どもをもつ職員が働けない、もしくは働きにくくなる	対象職員への配慮
利用者の活動制限	ADLやQOLの低下 認知症の悪化	代替ケアや対応の実施
職員への自粛依頼	職員のストレス増加	ストレスケア コミュニケーション
デマ情報の流布	誤った情報に振り回される 適切な対応ができない	正しい情報の共有
利用控え	収入の減少	資金調達

体制

	氏名	主な役割
委員長	施設長	全体の方針や計画の最終決定
委員	花の里 1 階管理者	介護全般
委員	花の里 2 階管理者	介護全般
委員	ふるさと 1 階管理者	介護全般
委員	ふるさと 2 階管理者	介護全般

新型コロナウイルス等対策の基本方針、復旧の目標時期とレベルは下記の通りです。この基本方針に則り、全ての行動を進めます。また想定外の事態が発生した際の判断の指針として活用します。

災害時の基本方針

- ・ 入居者の生命と生活を守る
- ・ 職員の生命と生活を守る

復旧の目標時期とレベル

業務	時期	レベル	備考
飲水	3時間	5回/日	備蓄水
バイタル測定	3時間	1回/日	体調不良者は適宜
排泄介助	3時間	適宜	パット類を使用
食事	6時間	3回/日	備蓄食
服薬介助	6時間	必要時	備蓄薬
清潔保持	3日	1回/週	おしり拭き等を使用

発生時の対処

項目	必要となる対応
入居者	感染時報告、経過報告
職員	感染拡大防止策(抗原検査、宿泊等)、危険手当
その他	消毒、使い捨て用品等の準備

BCPタイムライン



解説版

→P07.08

タイムライン

事前の備え

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

分類	業務	参照ページ	ステージ0	ステージ1		
			未発生期	海外発生	国内発生早期	
					地域未発生期	
事前準備	情報収集	12				
	物品の管理	11				
	標準予防策等周知	9・10				
予防対応	情報収集班設置	12				
	対策本部設置	15				
	感染状況の共有	12				
	感染症の情報共有	12				
	防護具の着脱訓練	11				
	ゾーニングシミュレーション	13・14				
	体調確認と記録	17				
	受付での体調等確認	18				
	感染経路の遮断	16				
	職員への自粛要請	17				
	部署間移動縮小	18				
	行事縮小や代替	18				
	面会縮小や代替	18				
	外部業者対応	18				
	委託業者対応確認	19				
	職員の意向確認	20				
	業務縮小検討	22				
感染の疑いがある者、陽性者、濃厚接触者発生	外部公表検討	19				
	隔離対応	21				
	濃厚接触者特定	21				
	シフト作成	-				
	外部応援検討	23				
	職員宿泊場所用意	25				
	相談窓口設置検討	25				
	外部対応窓口設置	19				
	衛生用品管理調達	11				
	業務縮小	22				
	ゾーニング検討	13・14				
	防護具着用	11				
	調理と食事の対応	24				
洗濯、ゴミの対応	24					
その他	誹謗中傷対策	25				
	離職防止対応	25				
	ワクチン接種準備	-				
	ワクチン接種	-				

標準予防策（スタンダードプリコーション）

標準予防策は、感染症の有無に関わらず全ての患者のケアに際して普遍的に適用する予防策です。患者の血液、体液（唾液、胸水、腹水、心嚢液、脳脊髄液等全ての体液）、分泌物（汗は除く）、排泄物、あるいは傷のある皮膚や、粘膜を感染の可能性のある物質と見なし対応することで、施設入所者と職員双方における施設感染の危険性を減少させるためのものです。高齢者施設において感染経路を遮断するためには感染経路（表1）を把握し「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことへの配慮が重要です。

引用：北大病院感染症対策マニュアル 一部修正加筆

図1 高齢者介護施設における感染対策（→：感染経路）

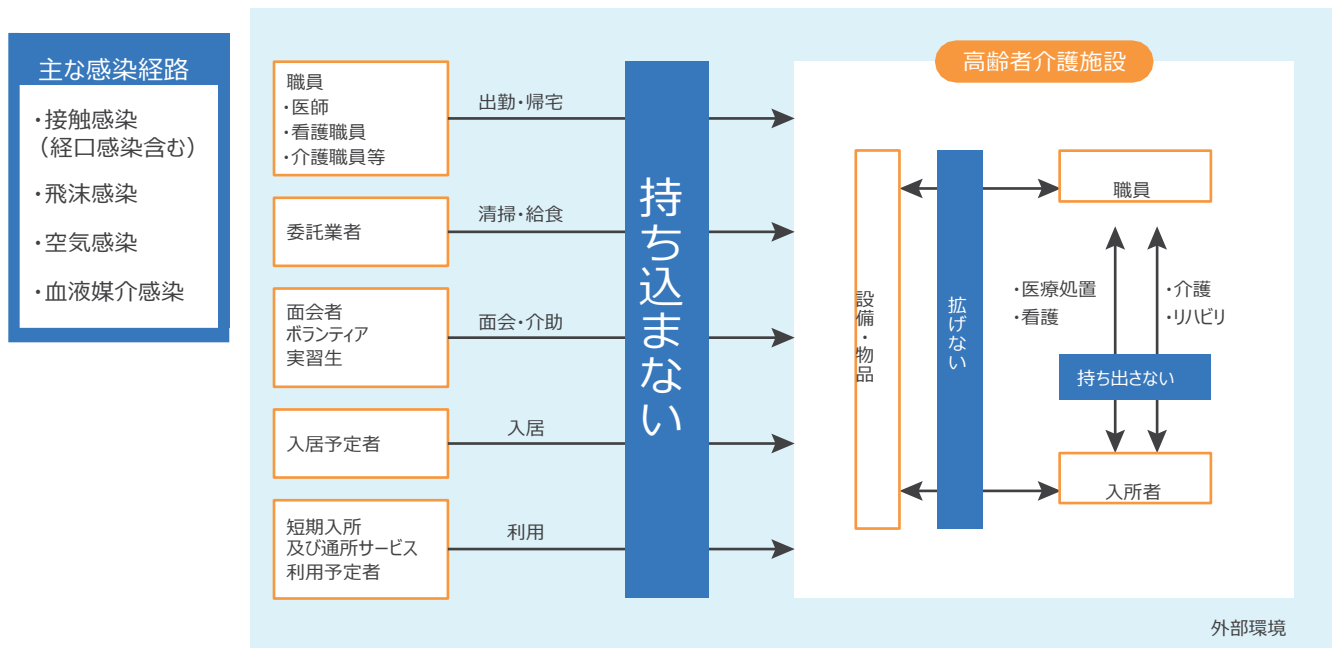


表1 主な感染経路と原因微生物

感染経路	特徴	主な原因微生物
接触感染 (経口感染含む)	● 手指・食品・器具を介して伝播する 頻度の高い伝播経路である。	ノロウイルス※ 腸管出血性大菌 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 等
飛沫感染	● 咳、くしゃみ、会話等で、飛沫粒子 (5μm以上) により伝播する。 ● 1m以内の床に落下し、 空中を浮遊し続けることはない。	インフルエンザウイルス※ ムンプスウイルス 風しんウイルス 等
空気感染	● 咳、くしゃみ等で飛沫核 (5μm未満) として伝播し、空中に浮遊し、 空気の流れにより飛散する。	結核菌 麻しんウイルス 水痘ウイルス 等
血液媒介感染	● 病原体に汚染された血液や体液、 分泌物が、針刺し等により体内に 入ることにより感染する。	B型肝炎ウイルス C型肝炎ウイルス 等

図1、表1 引用：「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」2019年3月

厚生労働省

※インフルエンザウイルスは、接触感染により感染する場合がある
※ノロウイルス、インフルエンザウイルスは、空気感染の可能性が報告されている

感染経路別予防策

感染経路には、①接触感染、②飛沫感染、③空気感染、④血液媒介感染などがあります。それぞれに対する予防策を、標準予防策（スタンダード・プリコーション）に追加して行います。疑われる症状がある場合には、診断される前であっても、すみやかに予防措置をとることが必要です。

1 接触感染予防策

- ・職員は手洗いを励行します。
- ・ケア時は、手袋を着用します。
同じ人のケアでも、便や創部排膿に触れる場合は手袋を交換します。
- ・汚染物との接触が予想されるときは、ガウンを着用します。ガウンを脱いだあとは、衣服が環境表面や物品に触れないように注意します。
- ・周囲に感染を広げてしまう可能性が高い場合は、原則として個室管理ですが、同病者の集団隔離とする場合もあります。
- ・居室には特殊な空調を設置する必要はありません。

2 飛沫感染予防策

- ・ケア時に職員はマスクを着用します。
- ・疑われる症状のある入所者には、呼吸状態により着用が難しい場合を除き、原則としてマスクを着用してもらいます。原則として個室管理ですが、同病者の集団隔離とする場合もあります。
- ・隔離管理ができないときは、ベッドの間隔を 2m 以上あける、あるいは、ベッドの間カーテンで仕切る等します。
- ・居室に特殊な空調は必要なく、ドアは開けたままでもかまいません。

3 空気感染予防策

- ・入院による治療が必要です。
- ・病院に移送するまでの間は、原則として個室管理とします。
- ・結核で排菌している患者と接触する際は、職員は高性能マスク（N95等）を着用します。

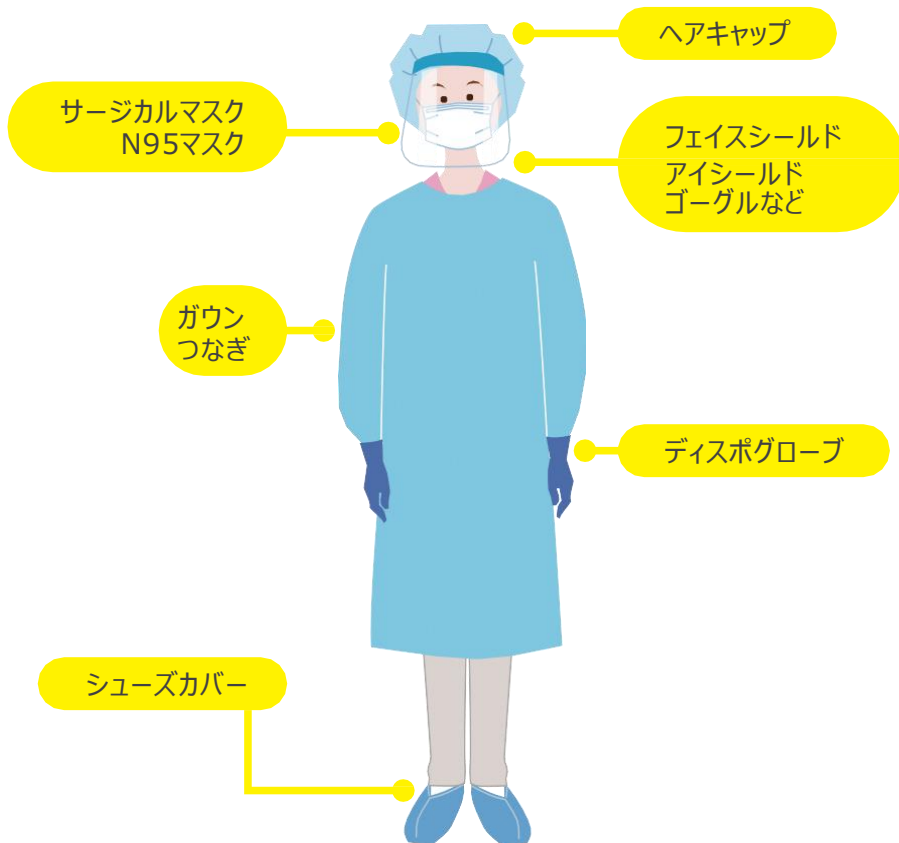
4 血液媒介感染予防策

入所者が出血、吐血した場合や、褥瘡ケアなど血液に触れるリスクのある処置の場合には、血液が触れないよう手袋やガウンを着用します。

防護具

解説版
→P11

図4 飛沫、接触感染対応の防護具例



東京都HP
(2021年4月現在)

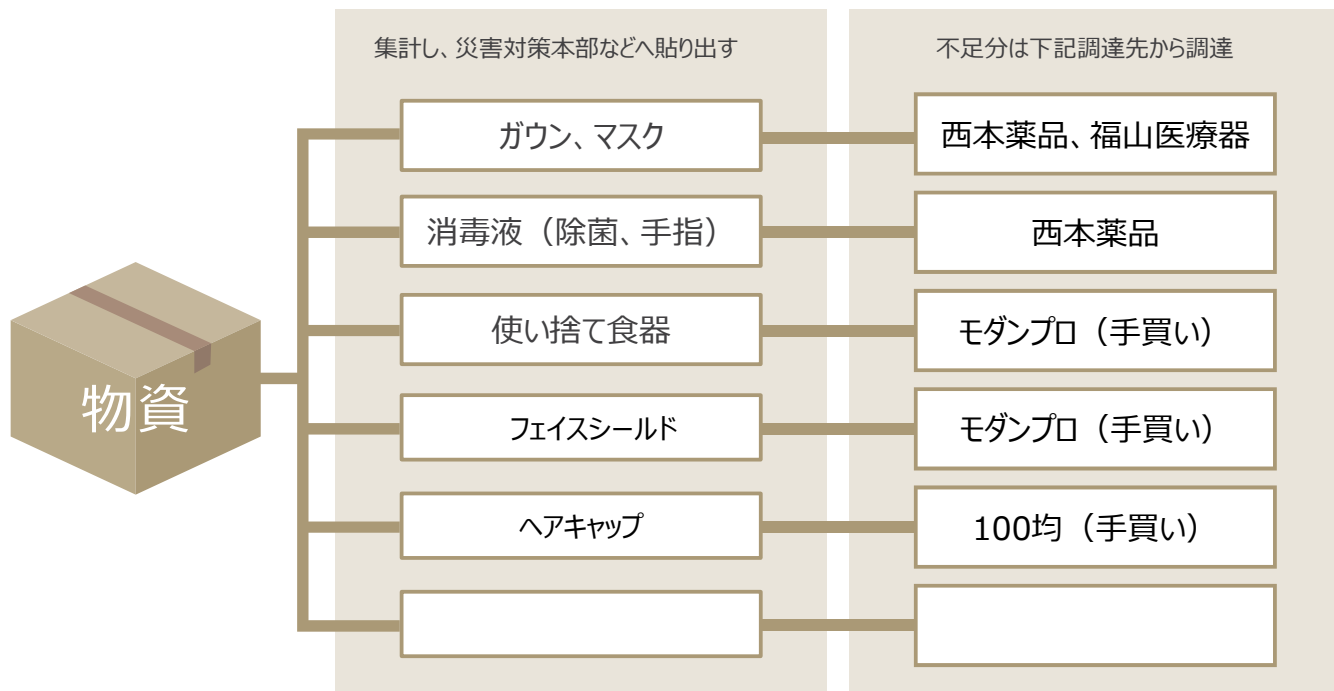
個人防護具の離脱
【東京動画小のリンク】

東京動画小のリンク

物資管理・調達（他施設連携）

解説版
→P11

物資量は常に管理します。クラスター発生時等は消費量が激増するため対策本部などに表を貼り出して、現在の数量を把握し、なくなる前に調達します。



タイムライン

事前準備

予防対応

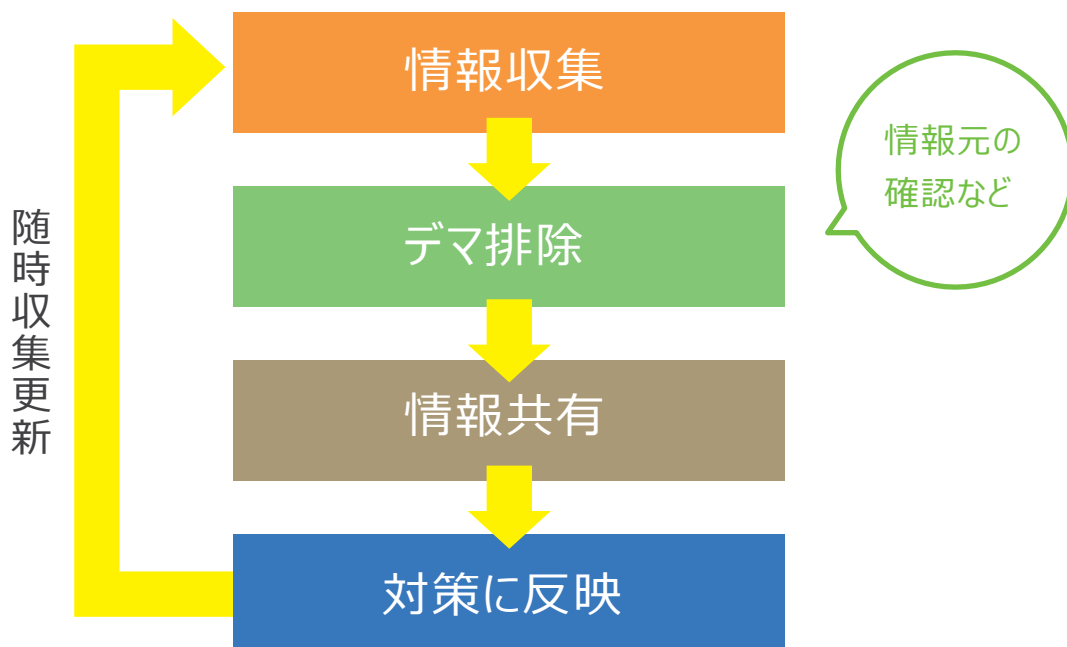
感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

情報収集と共有



収集する情報等	情報元	共有方法	担当者
国内、県内、市区町村の感染状況と現在のステージ	厚労省 自治体	回覧	管理者
緊急事態宣言、自治体独自の警戒レベルや対応などの情報	厚労省 自治体	回覧	管理者
厚労省の通知 (サービス提供に関わる情報など)	厚労省 自治体	回覧	管理者
感染症の特徴など (感染源、致死率、感染予防の方法等)	厚労省 自治体	回覧	管理者
検査方法やワクチン接種 などについて	厚労省 自治体	回覧	管理者
公共サービスの提供など (学校や病院など)	厚労省 自治体	回覧	管理者



MEMO

タイムライン

事前準備

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

設置するタイミング（下記のいずれかに該当する場合は設置）

- ・ 倉敷市で感染者が発生したとき
- ・ 緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令されたとき
- ・ 施設の関係者（職員や利用者の家族含む）が感染したとき
- ・ その他、対策本部の設置が必要な場合

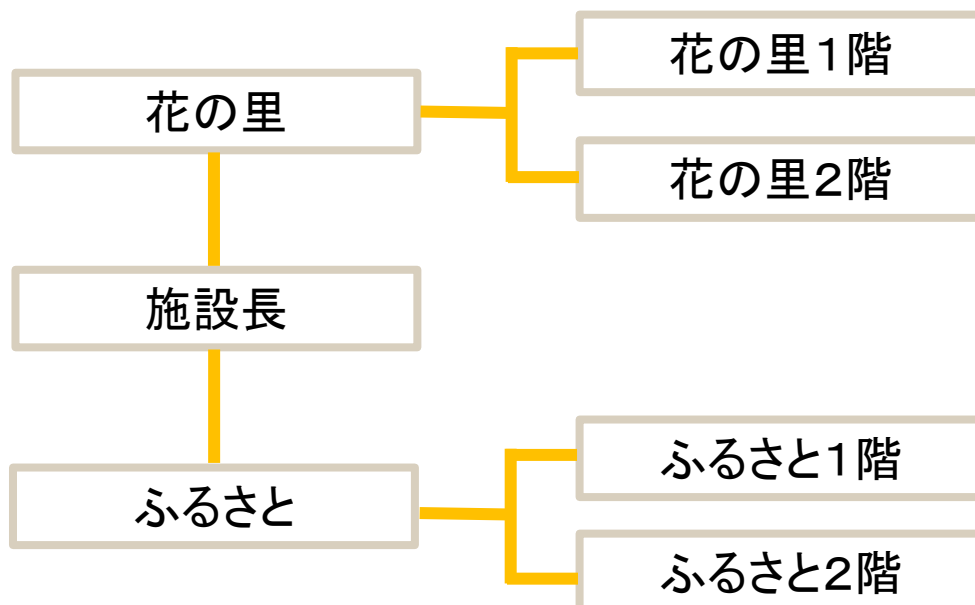
設置する場所（狭くて人が密集する場所には設置しない）

花の里 . . . 2階玄関付近
ふるさと . . . 多目的ホール

必要な物品と保管場所

物品	個数	保管場所
施設見取り図	1枚	
模造紙	10枚	
BCPや名簿等	—	



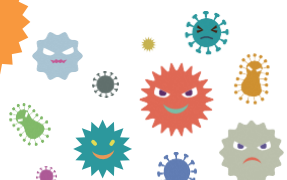
指揮命令系統



感染経路の遮断

解説版
→P16

感染源の排除の方法としては、手指の消毒と物品の消毒に分かれます。

感染経路	方法	頻度
接触感染 	手洗 手指の消毒 よく触れる場所や 物品の消毒	ケアごとに実施 1日 1～2回 (感染状況による)
飛沫感染 	サージカルマスク (状況によりN95マスク) の着用	1日 1～2枚目安で交換。感染者や感染の疑いがある人のケアをする場合は、ケアごとあるいは、レッドゾーンから出るタイミングで交換
空気感染 	N95マスクの着用	1日 1～2枚目安で交換。感染者や感染の疑いがある人のケアをする場合は、ケアごとあるいは、レッドゾーンから出るタイミングで交換

タイムライン
事前準備
初動
感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生
その他

消毒液の作り方（次亜塩素酸ナトリウム希釈液）

一般的な消毒（ドアノブ、トイレ、リネン類、調理器具など）

0.02%次亜塩素酸ナトリウムの作り方

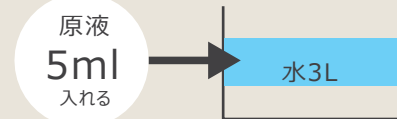
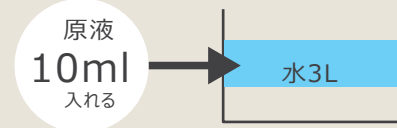
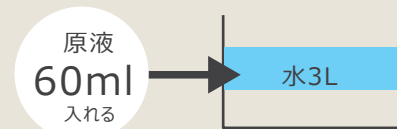
- ・消毒液は定期的に使用期限を確認し、期限切れに注意しましょう。
- ・作った消毒液は、時間が経つにつれて効果が落ちていきます。作り置きは1日分としましょう（冷暗所に保管し、早めに使用）。
- ・（目安）ペットボトルのキャップ2杯 = 10ml



→ 原液の濃度が1%の場合
50倍にする

→ 原液の濃度が6%の場合
300倍にする

→ 原液の濃度が12%の場合
600倍にする



※排泄物、嘔吐物の消毒のための、0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方については、「介護現場における感染対策の手引き」を参照してください

職員へのお願い



タイムライン

事前準備

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

自粛要請

○ = 可 △ = 状況に応じて × = できるだけ中止や延期

項目	具体的内容	ステージ (P8.9 参照)				備考
		1	2	3	4	
県外などへの移動自粛	旅行、行楽、帰省、その他用事など	△	×	×	×	
県外からの来客などの自粛	家族の帰省、親戚、友人などの来客	△	×	×	×	
密集する機会自粛	会食、カラオケ、ライブなど	△	×	×	×	

自宅での感染対策など

○ = できるだけ実施 ◎ = 必須

項目	具体的内容	ステージ (P8.9 参照)				備考
		1	2	3	4	
手洗い、消毒など	適宜の手洗い、消毒	◎	◎	◎	◎	
体調確認と報告 (家族含む)	初期症状を疑われる症状	○	◎	◎	◎	
その他	家族の勤務先や学校などでの感染者発生状況の報告	○	◎	◎	◎	

感染機会の回避



◎ = 必須 ○ = 状況により検討 - = 該当しない

機会	ステージ (P8~ 9 参照)							中止や延期を 検討するステージ
	1以上		2以上					
	体調確認	マスク	短時間	少人数	広い場所や衝立	換気	WEB 対応	
業者納品など	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	4
面会※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	3
施設見学	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	3
施設内行事	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	3
施設内研修	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	3
法人内研修	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	3
施設外研修	◎	◎	中止					2
屋外散歩	◎	◎	◎	◎	-	-	-	3
通院	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	3
運営推進会議	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	3
訪問理美容	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	3
認定調査	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	3
新規受け入れ	◎	◎	-	-	-	-	-	4

タイムライン

事前準備

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

委託業者等対応確認



会社名	業務	社員が感染した場合	施設内で感染者が出た場合	撤退時の代替案

外部公表



○ = 公表 △ = 状況に応じて × = 公表しない

	公表する対象				
	施設職員	家族	他家族	倉敷市	
公表する内容	① 感染の疑いのある人の発生	○	△	△	△
	② 感染の疑いのある人の部署など	○	△	△	△
	③ 感染者の発生	○	○	△	△
	④ 感染者の部署など	○	△	△	△
	⑤ 予防と現在の対応	○	△	△	△

※関係者は委託業者や派遣業者、ショートステイや併設サービスと関係している外部のケアマネや包括支援センターなど

タイムライン

事前準備

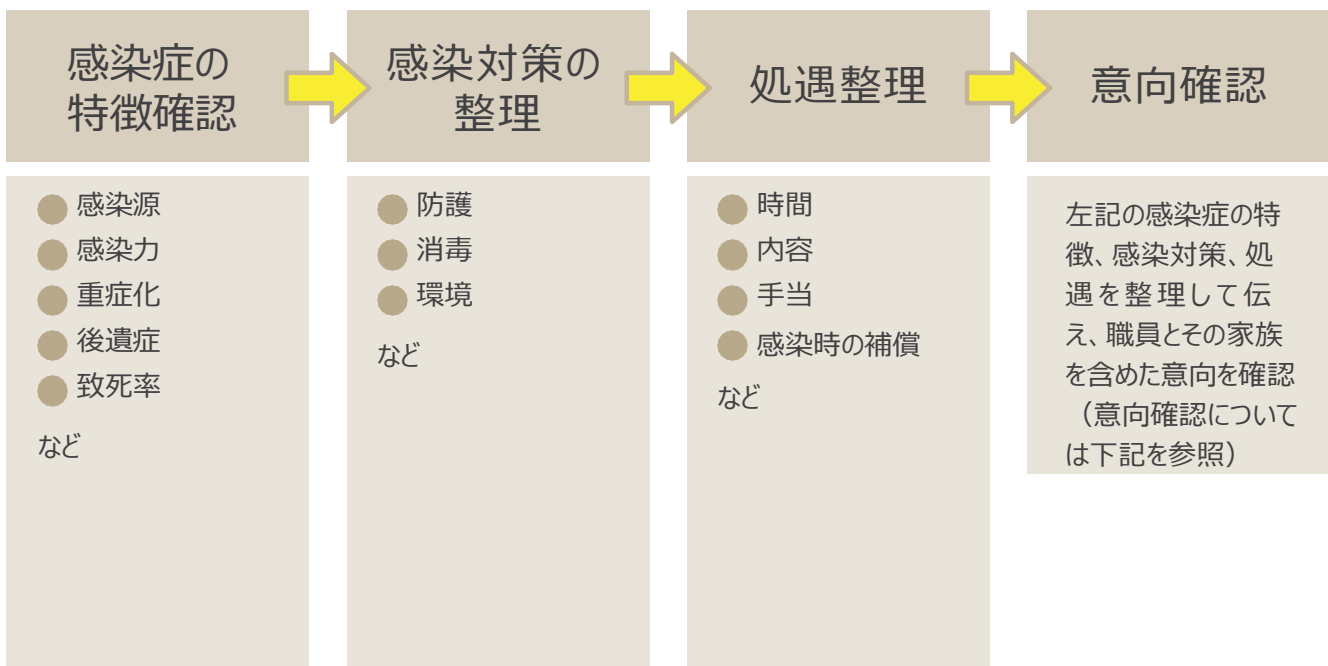
予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

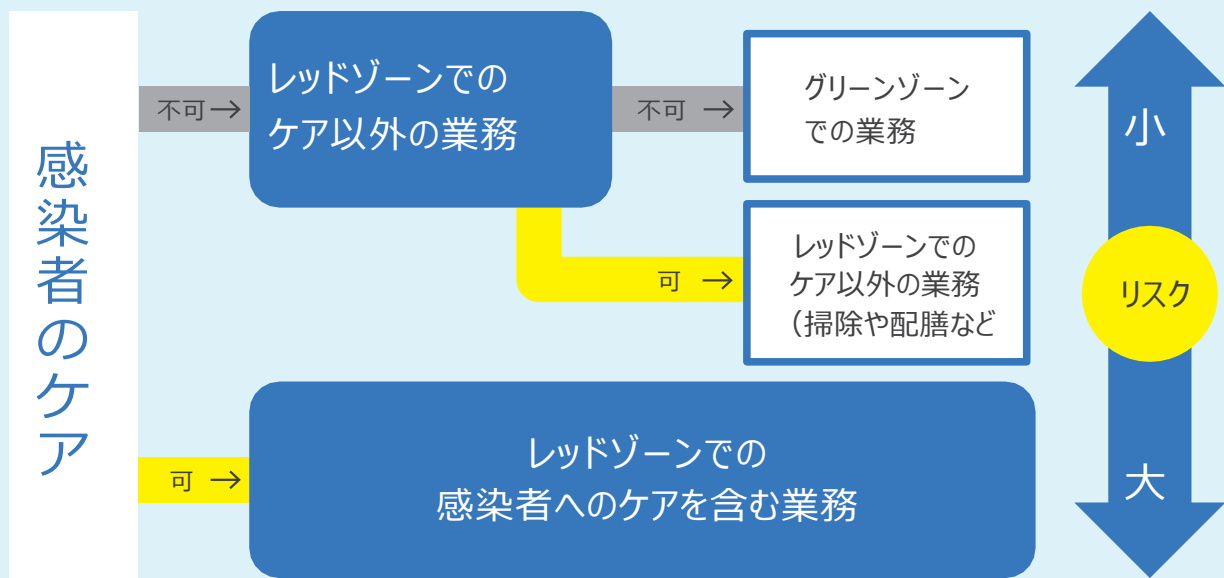
その他

職員の意向確認

解説版
→P20



意向の確認は、勤務できるかどうかではなく「どんな場所や内容なら勤務してもらえるか」を確認します。



MEMO

タイムライン

事前準備

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

隔離対応



感染経路	個室	備考
飛沫感染	食事や排せつも個室で対応。	適宜換気の実施。
接触感染	出入り時は適切な防護具を着用。	物品などの共有も注意。 物品の適宜消毒
空気感染	保健所や医療機関と入院や陰圧装置の使用などを相談。	マスクはN95を着用。
MEMO		

タイムライン

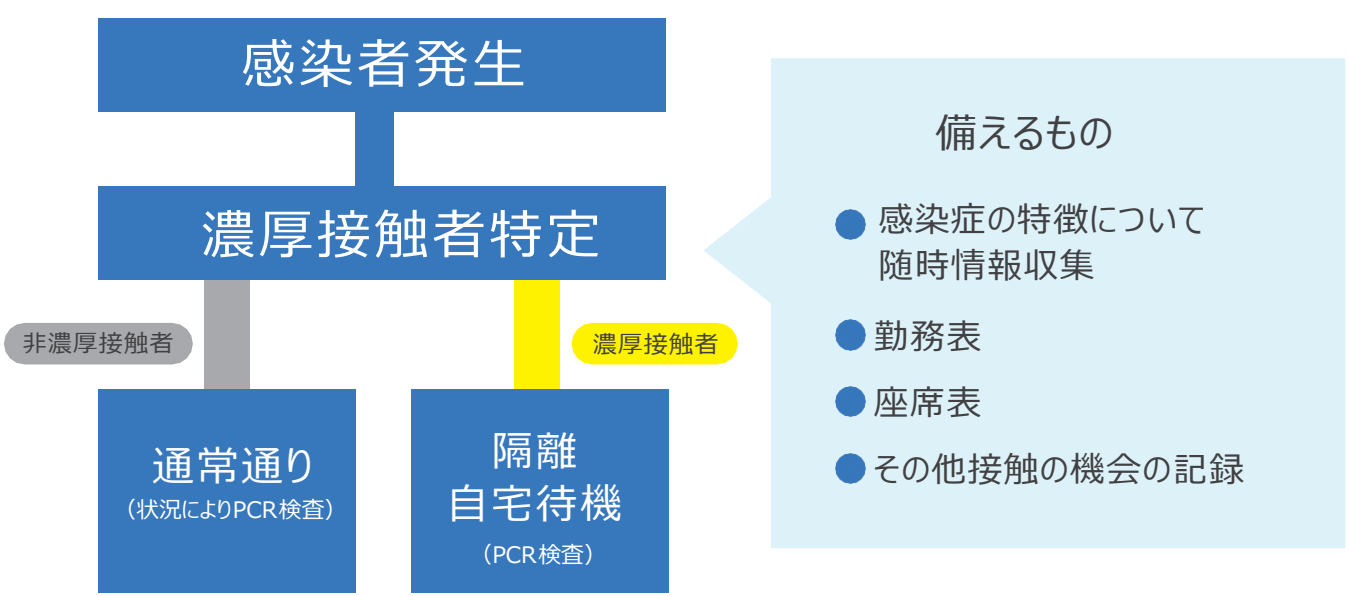
事前準備

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

濃厚接触者特定



業務縮小



時間	通常	職員 3 割減のケア	職員 5 割減のケア
6:00	起床	起床	起床
7:00	朝食、服薬	朝食、服薬	朝食、服薬
8:00	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄
9:00	体操		
10:00	ティータイム、入浴	ティータイム、入浴	ティータイム
11:00	入浴、リハビリ	入浴	
12:00	昼食、服薬	昼食、服薬	昼食、服薬
13:00	口腔ケア、排泄、臥床	口腔ケア、排泄、臥床	口腔ケア、排泄、臥床
14:00	離床	離床	離床
15:00	おやつ	おやつ	おやつ
16:00	体操		
17:00	夕食、服薬	夕食、服薬	夕食、服薬
18:00	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄	口腔ケア、排泄
19:00	就寝	就寝	就寝
21:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転
00:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転
03:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転
05:00	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転	巡回、排泄、体転

MEMO

タイムライン

事前準備

予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他

外部からの応援検討

解説版
→P23

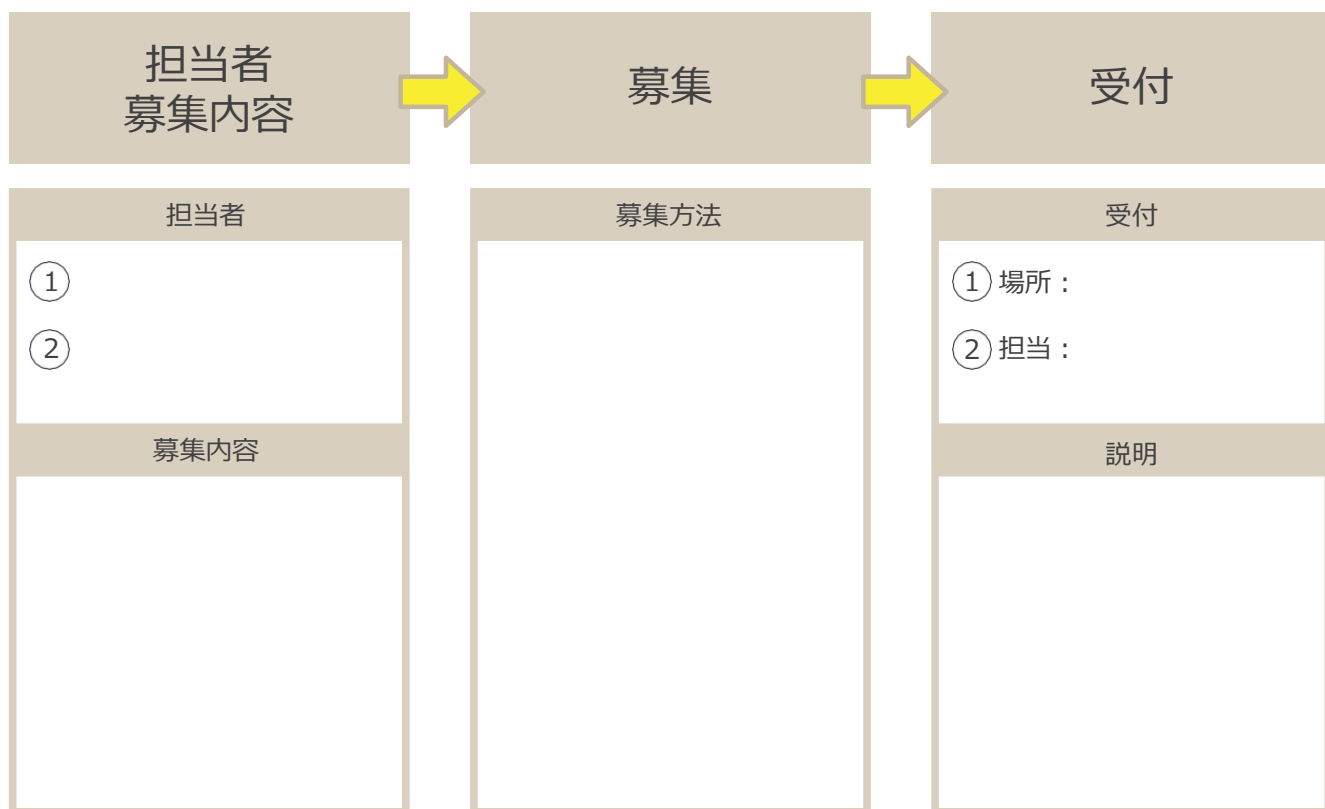
タイムライン

事前準備

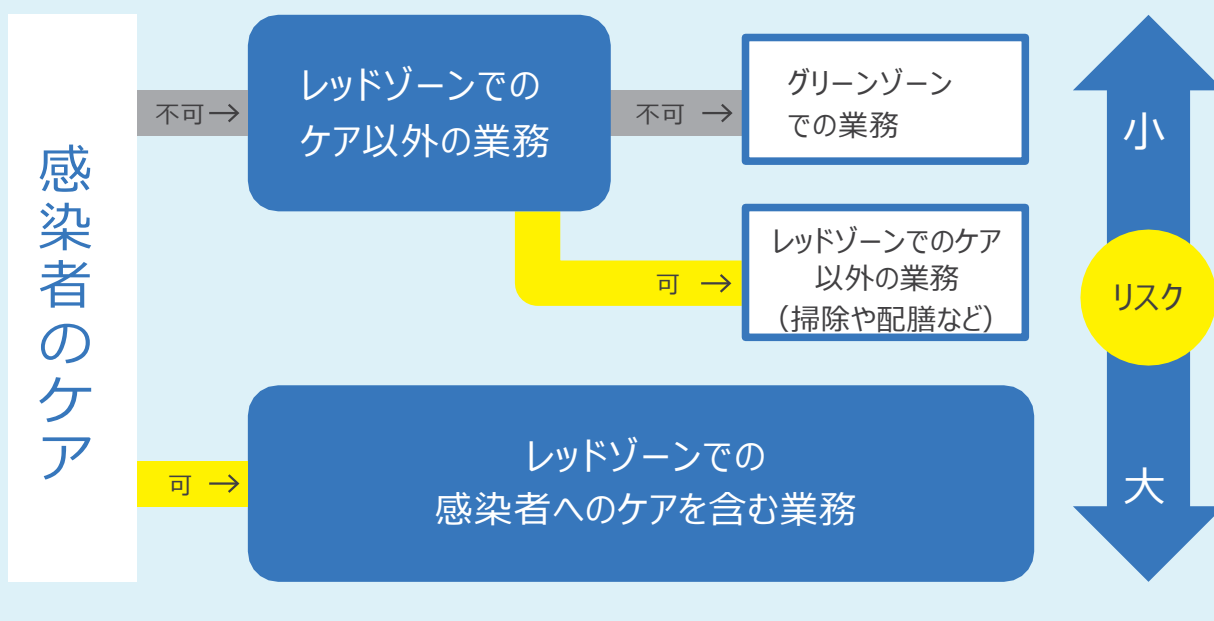
予防対応

感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生

その他



外部支援者も以下の整理で募集と配置を検討します。



感染経路	食事場所	食器	配膳・下膳
飛沫感染	できるだけ個室での食事提供。 その他、感染症の特徴に合わせて対応。	専用の物を使い、他の利用者と共有しない。 場合によっては使い捨ての食器を活用するなど、感染症の特徴に合わせて対応。	感染症の特徴に合わせて防護の内容を変更して対応。
接触感染			
空気感染	個室での提供	感染症の特徴によって専用の物が使い捨てにするかの判断。	感染症の特徴に合わせて防護して対応（マスクはN95）。

重要なポイント
感染症の特徴により対応が変わる場合があるため、しっかりと情報収集して、柔軟に対応することが重要です。

洗濯、ゴミの対応

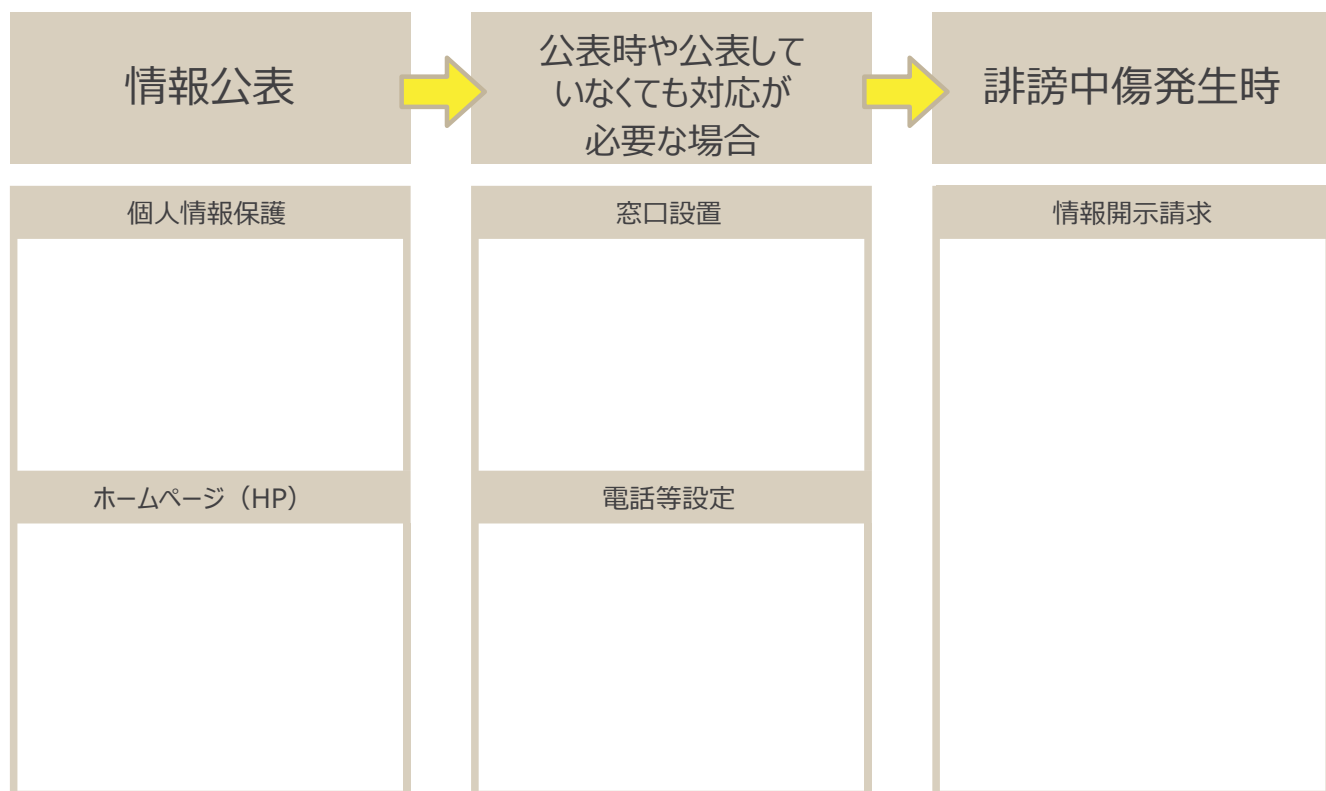


誹謗中傷対策



解説版
→P25

タイムライン



事前準備

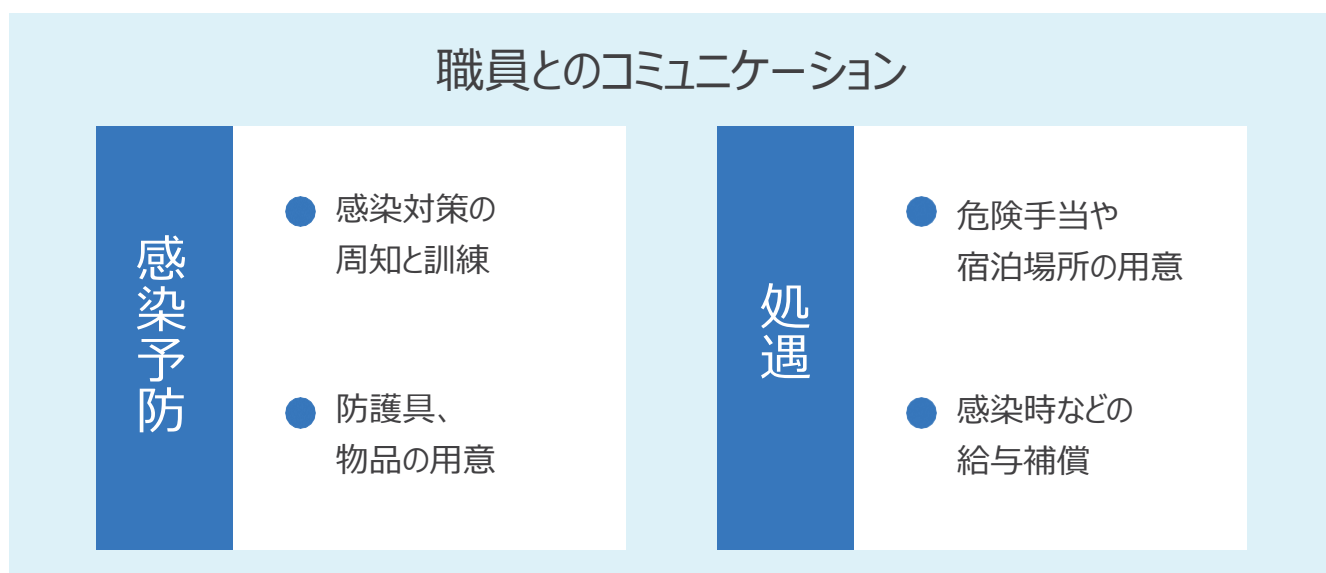
予防対応

離職防止対策



解説版
→P2

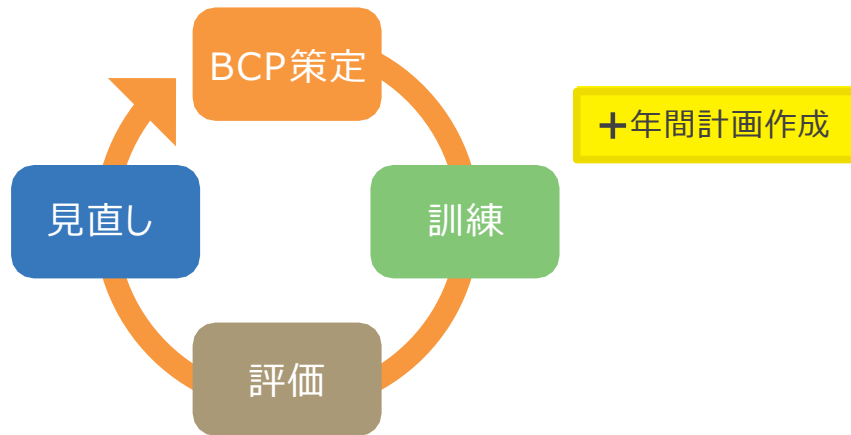
感染疑い者、陽性者、濃厚接触者発生



MEMO

その他

BCP 策定後は、年間目標や計画を立てて周知や訓練、設備や備品の管理などを実施し、定期的に評価を見直して実効性を高めていきます。



BCPの配置場 配置場所を記入し、差し替えが必要なときに見落としがないようにします。

設置場所	
各ユニット	

更新日と内容

更新日	ver	更新内容
R6.4.1	0.0	暫定版

様式 ※施設で用意してBCPに添付

NO	様式名
様式1	備品一覧
様式2	職員連絡先一覧
様式3	利用者連絡先一覧
様式4	関係業者一覧
様式5	年間計画
様式6	

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保



2021年8月 初版第1刷発行

冊子名：入所施設向け業務継続計画（感染症編）

発行者：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社 CoAct

本書を無断で模写することは法律で認められている場合を除き、
著作権及び発行者の権利の侵害になります。